



どのような未来を目指すための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります

地元の声

- ・大雨の時は山が崩れるのではないかと不安に思っている。(近隣住民)
- ・工事をしてくれるのを待っている。(近隣住民)

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆擁壁をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



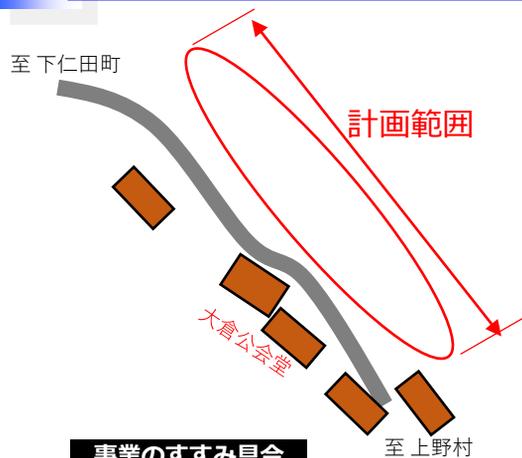
事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：南牧村檜沢
- 事業内容：擁壁工 延長158m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、測量及び詳細設計を行います。

